

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、資本の状況

(単位:億円)

	2015年度末 (2016年3月31日)	2016年度 第2四半期末 (2016年9月30日)	前年度末比
資産合計	32,263	30,036	△2,226
負債合計	23,000	21,472	△1,528
資本合計	9,262	8,564	△698
親会社所有者帰属持分(自己資本)	7,827	7,257	△570

〔ご参考〕

現金及び現金同等物	3,808	3,278	△529
有利子負債	5,349	5,675	326
ネット有利子負債	1,541	2,397	856
D/Eレシオ	0.68倍	0.78倍	0.10倍
ネットD/Eレシオ	0.20倍	0.33倍	0.13倍
親会社所有者帰属持分比率(自己資本比率)	24.3%	24.2%	△0.1%

当第2四半期末の資産合計は3兆36億円と、前年度末から2,226億円減少しました。前年度末に集中した売上に係る売掛金を回収したことにより、売上債権が減少しました。

負債合計は2兆1,472億円と、前年度末から1,528億円減少しました。前年度末に集中した売上に対応する支払いにより仕入債務が減少しました。

有利子負債は5,675億円と、運転資金の一部を短期借入金で調達したことなどにより326億円増加しました。

資本合計は8,564億円と、前年度末から698億円減少しました。海外を中心に金利低下に伴う割引率引下げなどにより確定給付制度の積立状況が悪化し、利益剰余金が減少しました。また、円高が進行したことにより在外営業活動体の換算差額が減少し、その他の資本の構成要素も減少しました。

なお、親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）は24.2%と前年度末から0.1ポイント減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	2015年度 第2四半期累計	2016年度 第2四半期累計	前年同期比
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	317	420	103
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△707	△957	△249
I+II フリー・キャッシュ・フロー	△390	△536	△146
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	608	138	△469
IV 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,843	3,278	△564

当第2四半期（累計）の営業活動によるキャッシュ・フローは420億円のプラスと、税引前四半期利益の改善により、前年同期からは103億円の収入増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローはデータセンター設備などへの投資により957億円のマイナスとなりました。前年同期からは249億円の支出増となりました。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは536億円のマイナスと、前年同期からは146億円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の一部を短期借入金で調達したことなどにより138億円のプラスとなりました。前年同期からは469億円の収入減となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前年度末から529億円減少し、3,278億円となりました。